

豊中市子ども読書活動推進計画 第2期実施計画

評価報告書

平成27年（2015年）2月

豊 中 市

はじめに

豊中市においては平成17年(2005年)3月「豊中市子ども読書活動推進計画」を策定し、その理念をふまえて、引続き「豊中市子ども読書活動推進計画 実施計画」を策定しました。その後10年間、市と市民が協力、連携して、市全体あるいは領域毎に様々な子ども読書活動推進事業を展開してきました。今年度が第2期実施計画の最終年となりますので、「第2期実施計画 評価報告書」を作成いたしました。

豊中市における子ども読書活動の歴史は古く、1960年後半から自然派生的に誕生した文庫活動の拡がりに始まり、それを受けて市立図書館も子ども読書活動の事業を展開。又、学校図書館にも司書の配置が始まりました。そのような歴史の上にこの計画があることにより、活動に揺るぎがなく、更に組織的に取組んだことで、人や情報が繋がり、ネットワークを組むことが多くなりました。推進計画を受けて取り組みを始めたところもあります。個々の目覚しい取り組みも報告されております。しかしながら、それが領域全体に広がり、0歳から18歳のすべての子どもに等しく十分な本を届けることができるまでには至っておりません。課題はあるものの現在、豊中市の子ども読書活動の取り組みは先進事例とされ、国の「第三次子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」の達成目標で示された内容は、豊中市においてはすでに実践されている状況にあります。

子ども読書活動の評価は、子どもが何冊読んだか、どんな力をつけたかを計るものではなく数量化できないことは関係者の共通認識になっています。しかし、最近の大阪府の学力・学習状況調査において、豊中市の子どもたちは読書に関する項目の肯定的回答が多くなりました。これは読書環境づくりの成果であると思っています。

子ども時代を豊中で過ごした人たちが、何十年か後に「生まれた時から、毎日家でも保育園でも本を読んでもらい、市にも学校にも充実した図書館があり、それを含めた教育があったからこそ、今の自分があるのだ」と思ってくださいるならば、それが「数量化できない大きな成果」でありましょうし、そのためにも引き続き子どもの読書環境整備を充実させていくことが大切であると思います。

－ 目次 －

はじめに

第1章 豊中市子ども読書活動推進計画の概要	1
1. 計画の基本理念	
2. 計画の基本方針	
3. 計画の策定	
第2章 豊中市子ども読書活動推進計画実施計画の概要	1
1. 実施機関	
2. 推進体制	
3. 事業内容	
4. 評価報告	
第3章 第2期実施計画の取り組み	2
1. 豊中市子ども読書活動推進計画 実施計画の基本方針	
2. 実施計画の構成	
3. 評価の指標一覧.....	3
4. 実施計画のサイクル.....	4
第4章 豊中市子ども読書活動推進計画の評価	5
1. 評価の主旨	
2. 評価の指標	
3. 評価の指標一覧.....	6
第5章 第2期実施計画期間に実施した子ども読書環境整備の評価	7
1. 事業・ネットワーク・情報（ソフトウェア）	
2. 読書に関わる施設と資料（ハードウェア）.....	8
3. 子ども読書活動の担い手の意識（ヒューマンウェア）.....	9
資料	37
1. 領域ごとの取り組み一覧.....	38
2. 子ども読書活動アンケートおよび聞き取り調査 単純集計結果.....	79
3. 豊中市子ども読書活動推進連絡協議会.....	99